

## 川崎市温室効果ガス排出量（2007 年度（確定値）・2008 年度（速報値））について

川崎市では、川崎市環境基本計画及び川崎市地球温暖化対策地域推進計画に基づき、毎年、市内の温室効果ガス排出量を算定しております。

このたび、市内の温室効果ガス排出量の 2007 年度（確定値）・2008 年度（速報値）の算定結果がまとまりましたので、お知らせいたします。

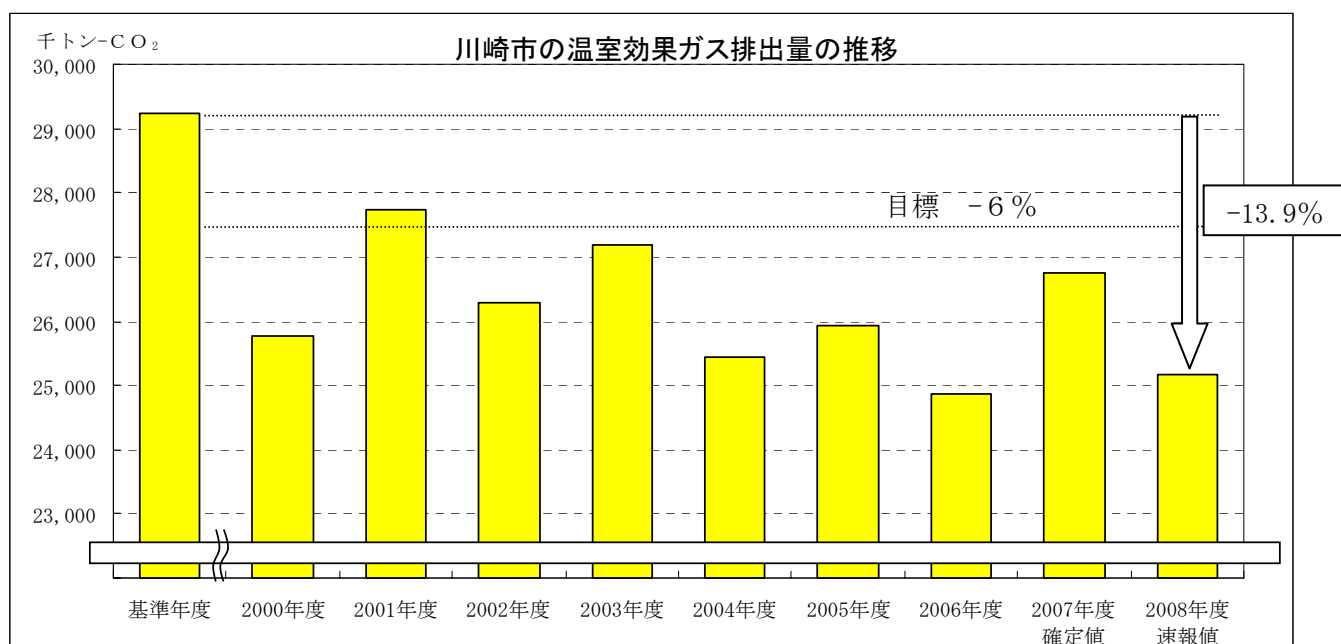
## 1 温室効果ガス排出量

川崎市の温室効果ガス排出量は、2007 年度が 26,757 千トン-CO<sub>2</sub>、2008 年度が 25,172 千トン-CO<sub>2</sub> でありました。基準年度（二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素は 1990 年度、それ以外の 3 ガスは 1995 年度）と比較した場合、2007 年度で 8.4%の減少、2008 年度で 13.9%の減少となっており、川崎市環境基本計画及び川崎市地球温暖化対策地域推進計画の目標である「2010 年度に 1990 年度（基準年度）比 6%削減」を達成しています。

物質別では、二酸化炭素、ハイドロフルオロカーボン類、六ふっ化硫黄が基準年と比較して減少が見られる一方、メタン、一酸化二窒素、パーフルオロカーボン類は増加しています。

単位：千トンCO<sub>2</sub>

	基準年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度 確定値	2008年度 速報値
二酸化炭素	26,706.5	24,400.2	26,482.7	25,161.8	26,151.0	24,426.5	25,201.5	24,163.9	26,145.2	24,641.6
対基準年比		-8.6%	-0.8%	-5.8%	-2.1%	-8.5%	-5.6%	-9.5%	-2.1%	-7.7%
メタン	12.9	13.3	14.7	14.8	15.4	15.9	16.5	15.4	19.7	19.0
対基準年比		3.0%	14.0%	15.2%	19.9%	23.7%	28.5%	19.7%	52.8%	47.6%
一酸化二窒素	77.7	92.7	91.9	93.2	93.3	92.1	92.3	98.6	98.5	102.0
対基準年比		19.2%	18.2%	19.9%	20.1%	18.4%	18.8%	26.9%	26.8%	31.2%
ハイドロフルオロカーボン類	255.4	84.4	106.0	91.6	201.8	205.1	181.4	128.6	79.6	88.0
対基準年比		-66.9%	-58.5%	-64.1%	-21.0%	-19.7%	-29.0%	-49.6%	-68.9%	-65.5%
パーフルオロカーボン類	166.7	519.0	469.0	495.0	427.0	450.0	361.0	414.0	370.1	290.8
対基準年比		211.4%	181.4%	197.0%	156.2%	170.0%	116.6%	148.4%	122.1%	74.5%
六ふっ化硫黄	2,004.0	645.3	573.6	430.2	298.8	239.0	71.7	57.0	44.0	31.0
対基準年比		-67.8%	-71.4%	-78.5%	-85.1%	-88.1%	-96.4%	-97.2%	-97.8%	-98.5%
総排出量	29,223.2	25,754.9	27,737.9	26,286.7	27,187.3	25,428.6	25,924.5	24,877.6	26,757.1	25,172.3
対基準年比		-11.9%	-5.1%	-10.0%	-7.0%	-13.0%	-11.3%	-14.9%	-8.4%	-13.9%



## 2 二酸化炭素排出量

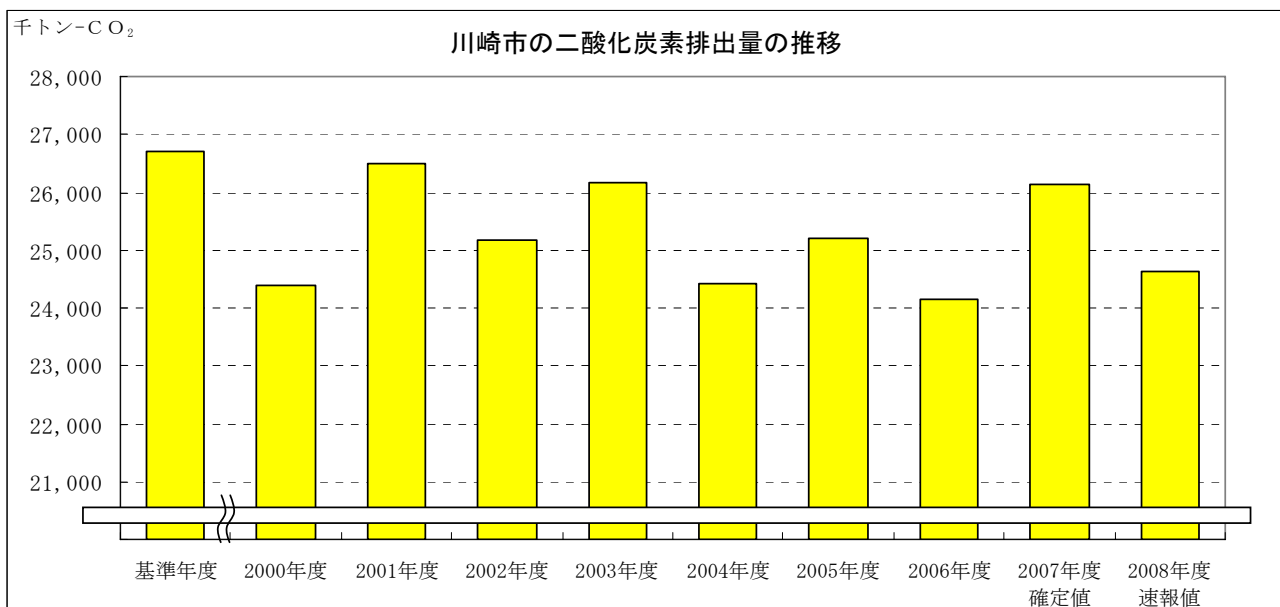
市域からの二酸化炭素排出量は2007年度が26,145千トン-CO<sub>2</sub>、2008年度が24,642千トン-CO<sub>2</sub>となっており、基準年度（1990年度）と比較した場合、2007年度で2.1%の減少、2008年度で7.7%の減少となりました。

部門別で見ると、排出割合では産業部門が約74%を占め、大きな排出源となっています。一方、伸び率で比較すると、増加率が高いのは民生部門（業務系）、民生部門（家庭系）となっており、転換部門、産業部門、廃棄物部門、工業プロセス部門の伸び率は減少に転じています。

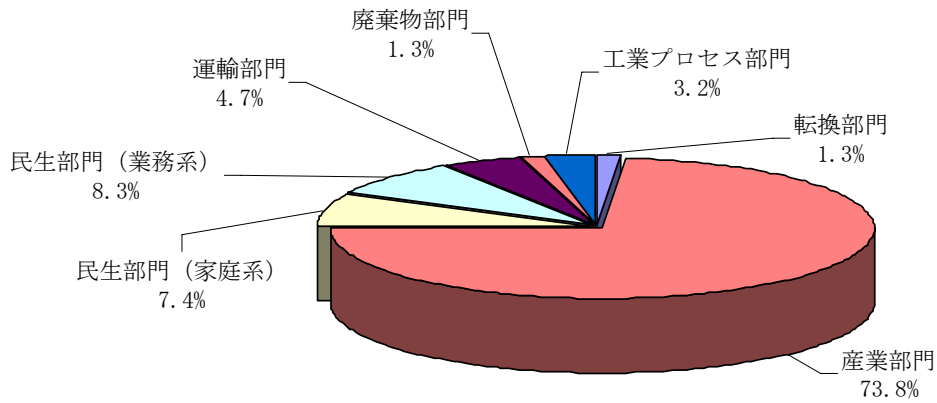
単位：千トンCO<sub>2</sub>

項目	基準年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度 確定値	2008年度 速報値
転換部門	437.9	414.9	338.7	356.4	336.2	271.3	239.2	216.1	289.8	321.3
対基準年比		-5.3%	-22.7%	-18.6%	-23.2%	-38.0%	-45.4%	-50.7%	-33.8%	-26.6%
産業部門	21,615.1	18,901.7	21,010.9	19,260.3	19,894.0	18,743.0	19,562.5	18,686.6	19,575.2	18,184.7
対基準年比		-12.6%	-2.8%	-10.9%	-8.0%	-13.3%	-9.5%	-13.5%	-9.4%	-15.9%
民生部門（家庭系）	1,107.6	1,400.5	1,371.2	1,590.2	1,727.7	1,537.2	1,600.0	1,493.9	1,843.5	1,816.6
対基準年比		26.4%	23.8%	43.6%	56.0%	38.8%	44.5%	34.9%	66.4%	64.0%
民生部門（業務系）	1,146.7	1,374.9	1,391.5	1,581.5	1,687.6	1,528.4	1,510.1	1,482.7	2,142.7	2,046.2
対基準年比		19.9%	21.3%	37.9%	47.2%	33.3%	31.7%	29.3%	86.9%	78.4%
運輸部門	1,094.6	1,296.1	1,278.5	1,291.4	1,263.7	1,213.4	1,190.1	1,164.7	1,188.1	1,164.3
対基準年比		18.4%	16.8%	18.0%	15.4%	10.8%	8.7%	6.4%	8.5%	6.4%
廃棄物部門	370.2	371.2	345.4	347.7	460.0	349.0	334.5	322.7	328.4	321.6
対基準年比		0.3%	-6.7%	-6.1%	24.3%	-5.7%	-9.6%	-12.8%	-11.3%	-13.1%
工業プロセス部門	934.5	640.8	746.6	734.3	781.9	784.2	765.0	797.3	777.6	786.8
対基準年比		-31.4%	-20.1%	-21.4%	-16.3%	-16.1%	-18.1%	-14.7%	-16.8%	-15.8%
合計	26,706.5	24,400.2	26,482.7	25,161.8	26,151.0	24,426.5	25,201.5	24,163.9	26,145.2	24,641.6
対基準年比		-8.6%	-0.8%	-5.8%	-2.1%	-8.5%	-5.6%	-9.5%	-2.1%	-7.7%

※合計値は四捨五入の関係で、マトリックス表の数値及び各欄の合計と必ずしも一致しない



市内の二酸化炭素排出量の部門別構成比(2008年度速報値)



### 3 区別の排出状況(2008年度速報値より)

#### (1) 温室効果ガス排出量

単位:千トンCO2

	川崎市	川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区
二酸化炭素	24,641.6	20,055.0	770.8	1,080.7	911.1	660.2	621.1	498.2
メタン	19.0	13.3	1.4	1.8	0.5	0.8	0.4	0.7
一酸化二窒素	102.0	78.3	4.3	5.9	5.9	2.6	1.8	3.2
ハイドロフルオロカーボン	88.0	76.3	1.3	2.2	2.3	2.2	2.3	1.6
パーフルオロカーボン	290.8	286.0	4.8	0	0	0	0	0
六ふっ化硫黄	31.0	31.0	0	0	0	0	0	0
合計	25,172.3	20,539.9	782.4	1,090.5	919.7	665.7	625.6	503.8
比率	100.0%	81.6%	3.1%	4.3%	3.7%	2.6%	2.5%	2.0%

#### (2) 二酸化炭素排出量

単位:千トンCO2

	川崎市	川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区
転換部門	321.3	301.7	0	0	0.8	0	0	18.8
産業部門	18,184.7	17,255.5	244.9	348.7	158.9	72.5	66.4	37.8
民生部門(家庭系)	1,816.6	290.6	196.2	308.3	270.6	266.5	268.2	216.2
民生部門(業務系)	2,046.2	672.0	239.4	324.3	224.0	189.6	210.7	141.6
運輸部門	1,164.3	497.0	90.3	99.5	211.1	131.5	75.8	59.2
廃棄物部門	321.6	251.4	0	0	45.6	0	0	24.6
工業プロセス部門	786.8	786.8	0	0	0	0	0	0
CO2合計	24,641.6	20,055.0	770.8	1,080.7	911.1	660.2	621.1	498.2
	100.0%	81.4%	3.1%	4.4%	3.7%	2.7%	2.5%	2.0%

#### 4 参考

##### (1) 全国、神奈川県との比較

単位：千トンCO<sub>2</sub>

項目	川崎市(2008年度)				神奈川県(2008年)				全国(2008年度)			
	排出量	内訳	基準年比	前年比	排出量	内訳	基準年比	前年比	排出量	内訳	基準年比	前年比
二酸化炭素	24,642	97.9%	-7.7%	-5.8%	72,780	97.4%	11.9%	-5.8%	1,214,438	94.7%	6.1%	-6.6%
メタン	19	0.1%	47.6%	-3.4%	120	0.2%	-56.8%	-3.1%	21,283	1.7%	-36.2%	-2.1%
二酸化二窒素	102	0.4%	31.2%	3.5%	860	1.2%	12.8%	-1.5%	22,460	1.8%	-31.2%	-0.5%
ハイドロフルオロカーボン類	88	0.3%	-65.5%	10.7%	840	1.1%	185.8%	14.7%	15,265	1.2%	-24.5%	15.0%
パーフルオロカーボン類	291	1.2%	74.5%	-21.4%	100	0.1%	-93.5%	-27.8%	4,616	0.4%	-67.1%	-28.0%
六ふっ化硫黄	31	0.1%	-98.5%	-29.5%	50	0.1%	-97.9%	-29.6%	3,761	0.3%	-77.8%	-14.7%
合計	25,172	100.0%	-13.9%	-5.9%	74,750	100.0%	6.5%	-5.6%	1,281,823	100.0%	1.6%	-6.4%

##### (2) 温室効果ガスの各物質の説明

物質名	用途、主な排出源等
二酸化炭素	燃料の燃焼、廃棄物の焼却、電気の使用など
メタン	農業、廃棄物の焼却、燃料の燃焼など
一酸化二窒素	農業、廃棄物の焼却、燃料の燃焼など
ハイドロフルオロカーボン	カーエアコンや冷蔵庫の冷媒等として使用
パーフルオロカーボン	半導体製造時や電子部品などの洗浄として使用
六ふっ化硫黄	変電設備に封入される電気絶縁ガスや半導体等製造用等に使用

##### (3) 各部門の説明

部門名	主な対象
転換部門	発電所等におけるエネルギー転換のための燃料使用に伴う排出 (電力等の消費に伴う排出は各部門に配分しており、この部門は自家消費分のみをいう。)
産業部門	製造業(工場)、農林水産業、鉱業、建設業における燃料・電力の使用等に伴う排出
民生部門(家庭)	家庭における燃料・電力の使用に伴う排出
民生部門(業務)	事務所・ビル、商業・サービス業施設等における燃料・電力の使用等に伴う排出
運輸部門	自動車、船舶、鉄道等における燃料・電力等の使用に伴う排出
廃棄物部門	廃棄物焼却場におけるプラスチック、廃油等の焼却に伴う排出
工業プロセス部門	セメント製造工程、アンモニア製造工程等からの排出等、工業材料の化学変化に伴う排出

##### (4) その他補足事項

###### ア 速報値と確定値について

温室効果ガス排出量は各種統計の年報値等に基づいて算定されますが、現段階では対象年度の年報値等が公表されていないものがあります。対象年度の年報値等が公表されていないものについては、前年度の年報値等を代用して速報値として公表しています。

なお、確定値につきましては、対象年度の年報値等に基づき算定を行っております。

###### イ 排出係数について

本算定に用いた二酸化炭素排出係数は、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づく「温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度」に準拠しています。

(お問い合わせ)

環境局地球環境推進室

TEL 044-200-2364